

**製品名: 嗅覚受容体 5111 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab15251**

研究使用のみ

**概要**

|        |  |
|--------|--|
| 説明     | ウサギポリクローナル抗体                                       |
| 宿主     | うさぎ  |
| 応用     | WB,ICC/IF,ELISA                                    |
| 反応性    | ヒト、ラット、マウス   |
| 標識     | 非共役  |
| 修飾     | 未修正  |
| アイソタイプ | IgG  |
| クローン性  | ポリクローナル  |
| 形態     | 液体   |
| 濃度     | 1mg/ml   |
| 保存     | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。  |
| 輸送     | 氷袋   |
| バッファー  | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製     | アフィニティー精製  |

**応用**

|      |  |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000 |
| 分子量  | 35kDa  |

**抗原情報**

|              |   |
|--------------|---|
| 遺伝子名         | OR5111  |
| 別名           | OR5111; Olfactory receptor 5111; Odorant receptor HOR5'beta11; Olfactory receptor OR11-39 |
| 遺伝子 ID       | 390063.0  |
| SwissProt ID | Q9H343  |
| 免疫原          | 抗血清はヒト OR5111 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 265-314  |

**背景**

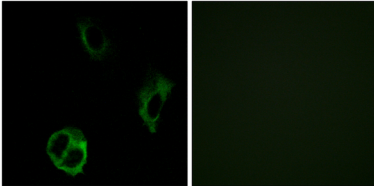
嗅覚受容体は鼻腔内の嗅覚分子と相互作用し、嗅覚の知覚を引き起こす神経反応を惹起します。嗅覚受容体タンパク質は、単一の

コーディングエクソン遺伝子から生じる G タンパク質共役受容体 (GPCR) の大規模なファミリーに属します。嗅覚受容体は、多くの神経伝達物質受容体やホルモン受容体と 7 つの膜貫通ドメイン構造を共有し、嗅覚シグナルの認識と G タンパク質を介した伝達を担っています。嗅覚受容体遺伝子ファミリーはゲノム中で最大のファミリーです。この生物の嗅覚受容体遺伝子およびタンパク質に割り当てられた命名法は、他の生物とは独立しています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能: 嗅覚受容体、類似性: G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属する。

## 研究分野

嗅覚伝達;

## 画像データ



OR5111 抗体を用いた COS7 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。